

平成 26 年 4 月 30 日

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 東京恵明学園

東京恵明学園児童部

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

全国施設見学・職員レクリエーション事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

以前より当学園では、職員研修と福利厚生職員の旅行を兼ねた「全国施設見学・職員レクリエーション」事業を行っていました。その経費としては、交通費、宿泊費、食費などがかかっていますが、通常予算内では足りず、参加する各職員が1名につき2万円ほど実費負担していました。その事業に対する補助として申請いたしました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

平成25年度は全職員を6つのグループに分け、1グループ5～6名の人数に構成し、事業を行いました。具体的な内容ですが、各グループが職員旅行と施設見学研修を兼ねて2泊3日の旅行に行くことができました。25年度の実施実績は、1班(6月11日～13日、大阪・姫路、6名)、2班(7月1日～3日、京都・大阪、6名)、3班(9月9日～11日、島根県、5名)、4班(10月7日～9日、愛知県、6名)、5班(11月24日～27日、韓国ソウル、6名)、6班(12月2日～4日、広島県、6名)でした。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

単なる職員旅行だけにするのではなく、普段訪問できないような遠方の施設を見学し、組織体制や様々な取り組みについて勉強することで、児童のケアの充実を図ることができました。また、見学先の施設とも継続して交流するきっかけにもなり、別の機会に当学園に見学に来ていただくことにもつながりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

別紙「施設見学研修報告書」参照

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

平成 25 年度

真如苑 児童福祉施設支援助成事業

施設見学研修 報告集

1 班 平成 25 年 6 月 10 日
児童養護施設「広畑学園」 兵庫県

2 班 平成 25 年 7 月 1 日
児童養護施設「遥学園」 大阪府
情緒障害児短期治療施設「ひびき」 大阪府

3 班 平成 25 年 9 月 9 日
児童養護施設「双樹学院」 島根県

4 班 平成 25 年 10 月 7 日
児童養護施設・児童心理治療施設「中日青葉学園」 愛知県

5 班 平成 25 年 11 月 25 日
児童養護施設「オリュウ」 韓国
児童養護施設「エデルマウル」 韓国

6 班 平成 25 年 12 月 2 日
児童養護施設・乳児院「広島修道院」 広島県

東京恵明学園児童部